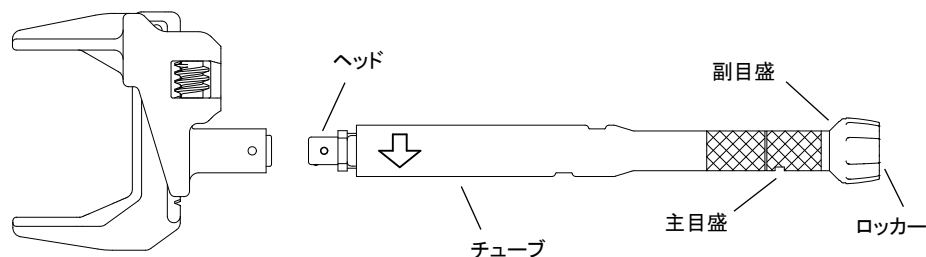


SKX用ショート トルクレンチ (口径 V13~D50)

取扱説明書

図 1



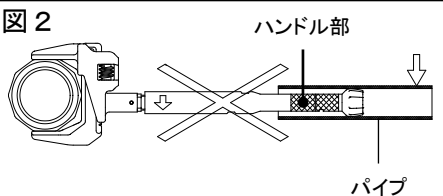
SKX用ショート トルクレンチヘッド

SKX用トルクレンチ本体

1 警告

- ① ねじの戻しには使わないで下さい
- ② パイプなどを用いてハンドル部を長くして使用しないで下さい (図2)

図 2



- ③ SKX用トルクレンチ本体とSKX用ショートトルクレンチヘッドの組み合わせ以外では使用しないで下さい
SKX用トルクレンチ本体およびSKX用ショートトルクレンチヘッドは弊社専用仕様です。これ以外の組み合わせでは正しいトルクが測定できません。

2 注意

- ① SKX用ショート トルクレンチに手力を加える時は、弾みをつけたり、体重をかけたり、足で踏みつけないで下さい
- ② 最大トルク (100 N・m) 以上で使用しないで下さい
破損になる事故やけがの原因になります。
- ③ SKX用ショート トルクレンチを落下させたり、強い衝撃を与えたりしないで下さい
- ④ SKX用ショート トルクレンチを立てて置かないで下さい
- ⑤ SKX用ショート トルクレンチの修理部品は、弊社の指定部品以外使用しないで下さい

3 使用上の注意

- ① 使用前に必ずトルクセットをして下さい
出荷時は最小目盛りとなっています。
- ② 目盛りは最小目盛りより下げないで下さい
- ③ トルク目盛り範囲以外で使用しないで下さい
- ④ SKX用ショート トルクレンチは水中や海中で使用しないで下さい
- ⑤ 有効長線上を握ってトルクをかけて下さい (図3)
- ⑥ 「カチン」と音がしたら、締め付けをやめて下さい
- ⑦ SKX用ショート トルクレンチをハンマーや、てこの代わりに使用しないで下さい
- ⑧ 日常点検や定期校正をして下さい
- ⑨ 力の方向
力の方向は、SKX用ショート トルクレンチに直角に (許容 $\pm 15^\circ$) (図4) 上下左右とも $\pm 15^\circ$ 以内にして下さい。
- ⑩ 使用後は、ゴミ・ホコリ・ドロ・油・水分等の汚れを取り除いて保管して下さい

図 3

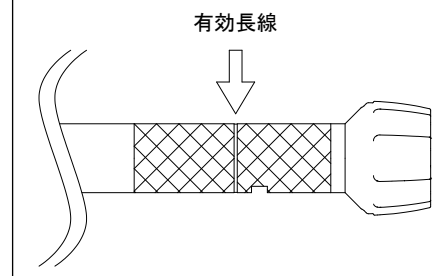
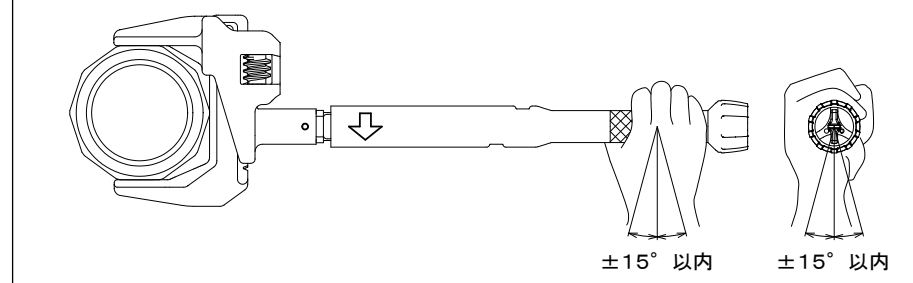


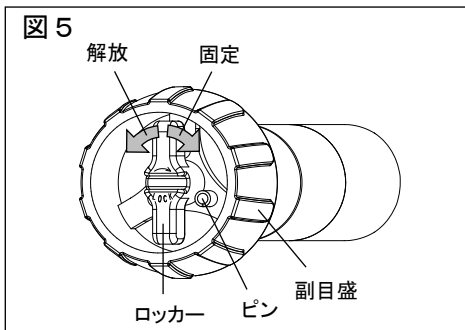
図 4



4 使用方法

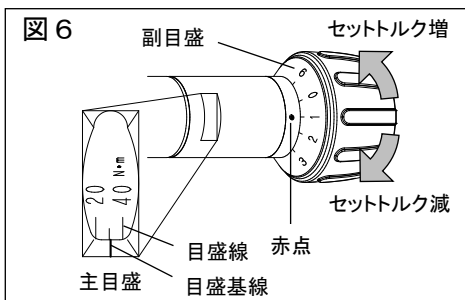
① トルク値をセットします

ロッカーを左に回し緩めます。(図5)
副目盛を回してトルク値を合わせます。
(主目盛+副目盛)
ロッカーを右に回して副目盛をロックします。
(図5)
注意! ロッカーにピンが当たる場合には
ピンの位置を変えて下さい。



例) セットトルク31N・mの合わせ方

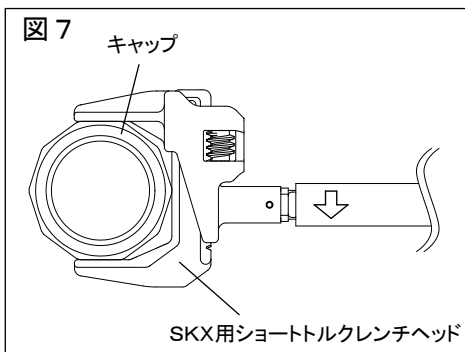
- 1) 主目盛を見ながら、副目盛を回し30 N・mの目盛線が、目盛基準に近づいたら副目盛を確認します。次に副目盛の0を赤点に合わせます。セットトルク30N・mになります。(図6)
- 2) 副目盛を見ながら、右方向(プラス方向)に回し、副目盛の1を赤点に合わせます。セットトルク31N・mになります。



② SKX用ショート トルクレンチヘッドをキャップの対辺に合わせます (図7)

③ SKX用ショート トルクレンチ本体を右方向 (チューブに記載の ONLY 方向) に回して締め付けます

注意! 左方向 (ONLY 方向と逆方向) に回しても「カチン」と音はしません。
左方向での無理な使用は、破損の原因となります。



④ 「カチン」と音がしたら締め付け完了

注意! 更に加えるとオーバートルクとなります。

5 ヘッドの取り付け・取り外し方

(取り付け方)

SKX用ショート トルクレンチヘッドをSKX用トルクレンチ本体頭部に取り付けて下さい (図8)

AのピンがBの穴に入っていることを確認して下さい。

(取り外し方)

Aのピンを押しながらSKX用ショート トルクレンチヘッドをSKX用トルクレンチ本体頭部から取り外して下さい (図8)

